

施工業者様へ

## 高耐候オルティノ 施工上の注意

このたびは高耐候オルティノ(VEXシリーズ)をご採用いただき、ありがとうございます。  
高耐候オルティノの施工前に、本書をよくお読みになりまして正しくご使用ください。

### 施工前の確認

- 施工前に、品番及び輸送時の破損・傷の確認をお願い致します。  
その後の責任は負いかねますので、必ずご確認ください。
- 内装用オルティノに比べ折れシワ、裂けが生じやすいためご注意ください。
- 施工する際は施工面だけでなく、床面の清掃も行い、必要に応じて防塵対策を行ってください。  
高耐候オルティノと施工面の間に異物が入るとフクレ等の原因となります。
- 屋外で使用する場合は石膏ボードやけい酸カルシウム板など含水する下地は避けてください。
- 傾斜面や水平面など垂直面以外の用途では劣化が早まります。
- 屋外ドアへの施工は避けてください。  
蝶番、のぞき穴等の取り付け金具の周りから剥がれが発生する恐れがあります。
- 直射日光が強く当たる部位や、常に雨掛かりがある部位にご使用されますと劣化が促進される恐れがあります。ご注意ください。
- 高耐候オルティノ(VEX)を不燃材料として施工する場合、その貼り付け下地は、平成12年建設省告示第1400号に例示されている金属板またはアルミニウム合金板\*としてください。他の下地に貼り付けた場合、不燃材料とはなりませんのでご注意ください。**
- 高耐候オルティノは、内装用オルティノと同様に内装用途としてもご使用いただけます。  
ただし、内装制限の適用部位へ施工される場合は、下地材料の選定にご注意ください。
- 高耐候オルティノは特殊な表面加工がされているため、内装用オルティノとは艶・色調が異なります。

※アルミニウム合金板

規格: JIS H 4000, JIS H 4040, JIS H 4100 厚さ: 0.5~20.0mm 質量: 1.4~56.0kg/m<sup>2</sup>

合金番号: 070, 1060, 1050, 1100, 1200, 2017, 2024, 3003, 3004, 3105, 5005, 5050, 5052, 6061, 6N01, 6063, 7003, 7050, 7N01

### 施工時の温度調整

- 寒冷地などの下地の温度が低い場合、接着しにくいことがありますので、施工下地の温度を10℃以上にし、施工してください。冬季、及び寒冷地での施工は特に注意してください。
- 高温環境下ではフィルムが柔軟になり、施工しにくくなる場合がありますので、ご注意ください。
- 屋外で施工する場合は、風雨の天候下での施工は避けてください。

### 下地調整

- 下地を平滑に仕上げることが、貼りがりを美しく仕上げるポイントとなります。
- 下地調整の方法は下地基材の材質・状態によって異なります。  
【基材別下地調整】を参照いただき、下地基材にあった下地処理を行ってください。
- 下地に湿気があると貼り付けができません。十分乾燥した後、施工してください。
- ポリエチレン、ポリプロピレン、シリコン樹脂、フッ素樹脂下地への施工はフクレ・ハガレの恐れがありますので、施工しないでください。
- 金属及びアルミニウム合金板以外の下地に施工した場合、不燃材料とはなりません。ご注意ください。**

【パテ処理】

- 基材のへこみ部分、継ぎ目部分はパテ処理を行い平滑に仕上げてください。
- 使用するパテは基材との密着性に優れ、肉ヤセが少ないものを使用してください。
- パテを使用する場合は、できるだけ基材の色調に近い物を使用してください。  
柄によっては下地の色が貼り上がり外観に影響する場合があります。

【プライマー処理】

- 垂れたり流れたりしない塗布量で均一に一度塗りして下さい。
- 標準塗布量 RA-910 30~50g/m<sup>2</sup> (水で3~4倍に希釈)  
RQ-900P 30~70g/m<sup>2</sup> (原液)
- 繰り返し塗布すると不燃認定の条件を外れる場合があります。  
防火の内装制限を受ける部位には標準塗布量を守って塗布してください。
- オルティノフィルム貼付けは、プライマー乾燥後行ってください。

【基材別下地調整】

本表は、施工時の下地調整方法を推奨するものであり、屋外用途としての下地の適性を保証するものではありません。

	ラワンベニヤ シナベニヤ MDF	せっこうボード 珪酸カルシウム板	モルタル	塩ビ鋼板 重ね貼り	メラミン化粧板 ポリエステル化粧板 <sup>※1</sup> アクリル板 <sup>※1</sup>	亜鉛メッキ鋼板 アルミニウム ステンレス	ガラス ※2
前処理	釘頭処理		金ゴテ仕上げ 乾燥状態の確認	表面確認	表面確認 釘頭処理	サビ、異物の除去	-
パテ処理	粉体パテ			ポリパテ	粉体パテ	ポリパテ	-
表面研磨	#180 サンドペーパー					グラインダー (突起部分) #180 サンドペーパー (平面部分)	-
表面清掃	アルコール ラッカーシンナー						
プライマー 処理	アイカイボン RQ-900P(原液) アイカ水性プライマーRA-910(水で3~4倍に希釈)						-
不燃適用	×	×	×	×	×	○	×

※1 ポリエステル板、アクリル板はアウトガスによってフクレが生じる恐れがあるのでご注意ください。

※2 直射日光が当たる環境や温度変化の激しい環境ではガラスが熱割れを起こす恐れがありますので、ご注意ください。

【施工時の注意事項】

- 屋外で使用する場合は、接着面への浸水を防ぐため、ジョイントは重ね貼りしてください。
- ジョイント部の重ね貼り部分はサンディングを行い、プライマーを塗布し、十分な圧縮を行ってください。
- 2枚貼り以上で施工した場合、不燃材料とはなりません。
- 艶の低い製品は摩擦力が働くと傷が目立ちやすいため、取り扱いにご注意ください。
- 3次元曲面への施工をしないでください。
- ドライヤー等で温度をかけながら引き伸ばすと色調や柄を損なう恐れがあります。
- 有機溶剤が表面に付着すると艶変化などの不具合が生じる恐れがございます。
- プライマーが表面に付着しないようご注意ください。
- 傷防止のため、圧着の際はスキージーに柔らかい布やフェルトを巻き施工することをお奨めします。

**アイカ工業株式会社**

建築・建材カンパニー

ホームページアドレス

<http://www.aica.co.jp/>



● 商品のお問い合わせ先

アイカ問合せセンター

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHSの一部のIP電話等からはご利用になれない場合がございます。

☎(0120)525-100 TEL(052)409-8313 FAX(052)409-1482